

広島・大盛「来年は1軍」

支配下契約 母校静岡産大に報告

プロ野球広島育成1年目で、来季の支配下契約を結んだ大盛穂外野手(飛龍高、静岡産大出)が17日、警田市の静岡産大を訪れ、鷺崎早雄学長、高木昭三後援会長、萩原輝久監督らに1年目の成果を報告した。

今季2軍戦109試合に出場して打率2割4分8厘、11打点、16盗塁を記録。支配下登録を勝ち取った。「来年は1軍で出るのが絶対条件。駄目ならクビという危機感を持って臨む」と覚悟を口にした。成績には「最低でも打率2割5分、20盗塁と想っていた」と納得していない。「体が小



広島の大盛(中央)が母校を訪れ、鷺崎静岡産大
大学長(左)と高木後援会長らに1年の成果を
報告した

さいのでシーズン後半に失速した。バットが振れない、走っても体が重いと感じてしまっただ。1軍で戦い抜く体をつくるため、ほぼ毎日ジムで自主トレに励んでいるという。食欲に学んだ1年だ

課題克服に取り組む。約1年ぶりの教え子との再会に萩原監督は「たくましく、プロ野球選手らしくなった。まだスタートラインに立っただけ。一歩踏み出すのは本人の力次第」と激励した。

(結城啓子)